

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスPEACE			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月28日 ~ 令和7年 12月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月1日 ~ 令和8年 1月 5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 6 日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育プログラムは、次の5つの柱を大切にしています。 放課後等デイサービスガイドラインの5領域に基づいた総合的なサービスを提供しています。	1. 運動療育 身体を動かすことで感覚を育て、心と体のバランスを整えます。 2. 個別学習（SST・課題対応） ソーシャルスキルトレーニングや個別課題を通じて、対人スキルや集中力を育てます。 3. 作業療育 道具を使った活動や手作業を通して、達成感と集中力を育みます。 4. 食育（農耕体験） 畑仕事や食材づくりを通じて、食への興味と命のつながりを学びます。 5. 多彩な行事 季節のイベントや外出などの体験活動で、社会性や協調性を育てます。	子ども達の成長に合わせ、様々な療育を受けられるように療育内容を適時、見直し、マンネリ化しないように取り組みます。
2	特性に応じた個々の対応が出来ます。	個々の特性を様々な方面から分析し、必要なトレーニング、強みの部分を見極め、先を見据えた支援を行っています。 個別で対応出来る限り支援を行える時間を設けています。	個別での対応や特性に関しては適切な支援方法や知識が必要となります。今後も専門家からの研修、助言を頂けるように取り組んで参ります。 また、継続した個別対応が出来るように職員配置も工夫します。
3	様々な悩み、相談に対して迅速な対応が出来ます。	職員間での密の情報共有に踏まえ、気づき、相談を受けた内容に関しては迅速に対応するように心掛けています。 また、ご本人、保護者様の目線に合わせ、考えるように取り組んでいます。	些細な事でもその日にあった出来事に関してはその日の内にフィードバックし、次の時には新たな解決策を伝授出来るように取り組みます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	古民家を改築した施設になる為、多少の段差や隙間風等があります。	現在では支障なく過ごす事は出来ていますが今後、利用されるお子様で必要に応じては環境整備する必要があると想定します。	改善する必要がある際は段差等の解消するリフォームを検討します。
2	言語聴覚士が在籍していない為、言語に関しては専門家からのアドバイスを受け、支援している状態です。	近年、言語の療育を必要としている子ども達が増加傾向です。直接支援して行くためには専門的な知識、判断が必要となってくると思います。	言語聴覚士を募集していますが確保出来ていない状態です。今後も関係機関と連携を図り、的確な支援が出来るように取り組みます。
3	直接的な地域交流の機会が少ない。	将来的に子ども達が地域に溶け込み、生活をして行く為には地域の方々に障害福祉について触れ合い、認知を向上していく必要があります。	今後は子ども達と地域の方々が自然に触れ合える行事を計画するまたは、地域の行事に参加する機会を設けて頂くために地域の活動に参加し、関係性を構築する。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		放課後等デイサービスPEACE						
		公表日 令和8年2月10日						
		利用児童数 28		回収数 21				
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 19	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 5	ご意見 ・広々とした部屋があり、活動しやすいと思う。 ・個室もあり、子どもの状況によって利用できる場所があるので良い。 ・大変のびのびとした環境。（家内・家外）	ご意見を踏まえた対応 とても、嬉しいご意見有難うございます。古民家を改築している為、子どもたちが伸び伸びと活動出来、特性があるお子様には個別で対応出来るようになります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見 ・個別に対応して頂いている。 ・何人の職員の方がいるかわからない。	基準となる職員配置を徹底しており、1日約4名～6名が支援に携わっています。今後も利用人数、特性に合わせて職員を調整します。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	はい 19	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見 ・その日の活動の予定等を名前と一緒に貼る等、視覚的に子どもに分かりやすくされていると思う。 ・生活空間は整っているがバリアフリー化はされていない。	障害特性に合わせて合理的配慮の工夫を行っています。 バリアフリーに関しては現在利用されている中で必要な方は在籍されていない状態です。今後必要に応じて検討して行きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 20	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	子ども達が心地よく過ごす事が出来るように活動前、後に清掃を行っています。また、適時換気、消毒活動も実施しています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見 ・子どもの苦手、得意な所、その日の心の状態等、理解し、工夫して取り組み、楽しく過ごせるように支援している。	特性を長所とみて、活かす支援や苦手な事が少しの工夫で出来るに変化するような支援を心掛けています。学びの中にも楽しげがあるような形を提供しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 20	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	公表している内容と一致しています。今後も支援プログラムに関してはより良い内容を提供出来るように更新します。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 20	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見 ・子どもと親の意向を聞いて、目標を考え、支援計画を作っている。 ・発達に合わせて頂き、随時、更新されたり、日々成長出来ている。	まず、ご本人の意向を尊重しながら、保護者様の意向も踏まえ、立案するように心掛けています。先を見据え、今必要な事（課題）に着目して計画しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	はい 20	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	放課後等デイサービスガイドラインに沿って具体的な支援内容等を明記するように心掛けています。今後も変更があった際は適時、対応します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 18	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 2	ご意見 ・活動内容の種類は沢山あり、色々な活動が出来るように工夫されているように思う。	1ヵ月の支援計画をもとに活動内容が固定化されないように定期的にミーティングを重ね総合的な支援プログラムを構築しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	はい 16	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 4	ご意見 ・外出で児童館へ行き、他の子ども達と交流する機会が設けられている。 ・他の放課後等デイサービスと良く交流をして頂いて、有難うございます。	現在、外出時には児童館へ行き、他の子ども達と触れ合える機会を設けています。また、他の放課後等デイサービス様と合同行事も計画して頂き、交流が出来ています。直接、イベント等で学童や児童館と交流する機会は提供していません。今後は定期的に交流する機会を設けたいと思っています。また、地域交流では地域の方と職員が交流を深めている段階です。関係性を構築し、子ども達が交流出来る機会を立案して行きたいと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 21	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 21	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 19	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 1	ご意見	今年度はワークショップや親子交流する機会を設け、多くの方がに参加して頂き、普段聞けないお話を子ども達の様子を見て頂き、有難うございました。今後も家族支援プログラム等も開催出来るように検討します。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	21			・普段の子どもの状況や変化があればすぐにお伝えし、情報を共有出来ている。 ・感情の変化など、良く見て下さっているなど感じる。	送迎時もしくは直接ご連絡し、日頃の変化をお伝え出来るように心掛けています。今後も小さな気付きを見落とさず、お伝え出来るように取り組みます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2		・いつも親切、丁寧に相談に乗って頂き、必要な支援等を教えて頂き、頼りにしています。 ・不穏に対しても向き合ってもらえ、早期収束が出来る程、理解して頂いている。 ・面談や何か相談したいことがある時はその都度、話しアドバイスを頂いている。	ご相談があった際は適時、面談等を実施し支援方法を共い考え、取り組んでいます。また、内容によっては関係機関とも連携を図れる体制を整え、一貫した支援が出来るように努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20		1	・いつも親切、丁寧に相談に乗って頂き、必要な支援等を教えて頂き、頼りにしています。 ・親身になって悩みを聞いて下さっているので精神的にもいつも助けて頂いている。	保護者様の気持ちに寄り添いながらを大切に取り組んでいますが今後はより、気軽にお話しできる環境を整えて行きたいと考えています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	6	・交流会で仲の良い友人のご家族と会え、挨拶が出来た事が印象に残っている。 ・弟が参加する事でいつも通りの通所中の姿を見れなくて少し寂しかった。 ・保護者が集まる機会があり、交流出来たので良かったと思う。 ・兄弟向けのイベントはない。 ・兄弟支援はない。	今年度はワークショップや親子交流する機会を設け、多くの方がに参加して頂きました。保護者様同士でも交流する姿も見受けられ、良かったと思います。ご兄弟の方にも参加して頂き、協力する姿も見る事が出来ました。 今後もご意見を踏まえ、ご兄弟が気軽に参加出来る行事を検討して行きたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20		1		相談等は適時、対応させて頂いております。 今後も迅速、正確に対応出来るように努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19		2	・お便りやSNS等で活動の様子を見る事ができるので子どもがどんな活動をしているかを知れて良いと思う。	拝見して頂き、嬉しく思います。個人情報の取り扱いもあり、SNSではご本人と特定されないように配慮していますが子ども達の素敵な笑顔を見て頂けなく、非常に残念に思います。是非、ご希望に応じてはお写真をお見せしますのでお気軽にお申し付け下さい。
	22	個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	19		2		個人情報の取り扱いに関してはマニュアルに沿って管理させて頂いています。 鍵付きの保管庫にて厳重に取り扱っています。 今後も知り得た情報等が流失しないよう管理体制を整え、徹底致します。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	3		各マニュアルがあり、職員間では研修、訓練等を実施しています。 保護者様への伝達に関しては契約時に触れているが希望に応じては閲覧出来る形にしていますのでお気軽にお申し付け下さい。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18		3		年4回程、子ども達と防災学習、避難訓練を実施しています。活動力レンダーに明記しております。 今後も実際に発生するケースに対して様々な訓練を実施します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		3	・何かトラブルがあった時はすぐにその時の状況を説明して下さっている。	子ども達の安全を確保出来るように計画し、適時、ミーティングを行っています。保護者様にも安心して子ども達を預けられる環境を整えて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20		1	事故対応マニュアルの手順に沿って対応しています。 また、再度事故が発生しないように対策を考え、お伝えするように心掛けています。 今後も安全に過ごせる環境を整備します。	とても、嬉しいお言葉有難うござります。今後も子ども達が「また、来たい。」と思える環境や「お帰り。」と迎え入れる環境を維持して行きたいと思います。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20		1	・中々世の中で居場所が少ない子どもですが楽しく過ごし、安心して過ごさせてもらっている事に感謝している。	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用前日に「明日はピースやな。●●ちゃんおるな。」等話し、楽しみにしている。</li> <li>・デイに行く日はにこにことしている。</li> </ul>	通所の中で施設側だけの力ではなく、来所している子ども達の力があり、より楽しみにして頂いているのではないかと思います。いつも、元気に送り出して下さっている保護者の皆様には感謝ばかりです。いつも、有難うございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。					・利用した曜日の後に本人の成長、変化を感じる事が多いので大満足している。 ・親子の心身共にいつも支えて頂いています。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスPEACE				公表日	令和8年2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容、特性に応じて活動部屋（スペース）を確保している。個別での対応では一つの部屋に1名から3名、集団活動では機能訓練室に5名から10名で支援を実施し、適切なスペースを確保している。	今後も特性、活動内容、その日の状況に応じて、子ども達が伸び伸びと過ごせる環境（スペース）を提供出来るように取り組みます。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		通常は10名の方が利用して下さる中で基準である、2名以上、平均4名～5名の職員を配置している。	子ども達の状況、特性に応じて、職員も子ども達もゆとりを持ち、支援が出来るような体制を構築を図ります。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		学習を行うところ、活動を行うところ、クーラルダウンの場所と分かりやすい環境になっている。	構造化された環境の中で必要に応じてはバリアフリー化し、充実した安全な環境を提供出来るように努めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動前、活動後に清掃、消毒（次亜塩素酸ナトリウム）で消毒を実施し、適時、換気も行っている。（送迎車内も含め。）	感染症流行時期に関わらず、心地よく、安全、安心して過ごせる環境を整えて参ります。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養室があり個別に学習をする際やクーラルダウンの際に利用できる。	個別で活動が出来る部屋を5部屋設置していますが部屋の相性等もある為、適切に見極め活動出来るように取り組みます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		適時、ミーティングを行い、その場にいない職員にも意見交換、情報共有している。職員会では一貫した支援についても確認している。ケースに基づき、検討、評価、報告、等、振り返りを実施している。	支援が繋がる為に今後も適時、ミーティングを行い、あった出来事等を記憶が鮮明な内に情報共有し、次の支援に繋げていけるように努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		貴重なご意見を頂いた内容に関してはまとめて、話し合い、業務の改善に繋げている。	意向等も踏まえ、改善が必要な項目では子ども達、ご家族が安心、安全に実りある時間を過ごさるように対応します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		反省会に加えて、日々の執務の中でこまめに情報交換することができている。	今後も職員間で話やすい環境、時間を設け、チームとして質の高いサービスを提供出来るように努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		他事業所との意見交換、評価を行い、改善点をまとめ、業務に繋げている。	放課後等デイサービスだけでなく、就労継続支援事業とも連携を図り、先を見据えた支援についても評価し、改善を図ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		パートも研修に参加できる機会があり、資質向上を図ることができる。	今後も全職員が積極的に外部研修に参加し、質の向上を図ります。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページ等で公表している。必要に応じて、資料でお渡しする場合もある。	支援プログラムの内容が変更になった際も適時、更新出来るように取り組みます。また、ご要望に応じては資料を配布するように努めます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントや他機関で情報をもとにご本人の意向を大切にし、職員間で確認し、作成している。	今後も様々な角度、意向、情報から課題、目標等を検討し、適切な内容で作成出来るように取り組みます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		作成する際は職員間で意見交換等を行い、共通理解のもとで作成している。	継続して共通理解した上で計画し、密の共有を徹底します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日常的に全職員が計画を閲覧でき、内容を確認し、支援を行っている。	今後も継続し、再度、内容を確認した上で支援に入れるように取り組みます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		全児童が対象ではないが標準化されたツールを必要に応じて、活用し、他施設と連携を貼囲っている。インフォーマルなアセスメントについては記録している。	必要に応じて適応行動の状況を把握し、ツールを活用するように努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に基づき、必須項目に沿った内容を作成している。	具体的な内容に関してマンネリ化しないよう見直しを図ります。	

の な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	チームとして立案し、固着しないような構造になっている。	今後も職員全体で様々な意見を取り入れ、全体で考え、より良い活動を取り組んでいきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	職員間で意見を出し合い様々なプログラムを行なうことができる。	活動プログラムの内容に関しては日ごとに意見を出し合い、子ども達が実りある内容で取り組みます。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	利用日には必ず、状況を把握し、個別、集団の活動を組み合わせ、計画し、支援を行っている。	今後も偏りがないように状況に応じて柔軟な対応を行います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	パートの職員を含め必ず毎日支援内容や役割分担について確認することができている。	今後も支援開始前には必ず、ミーティングを行い、チームとして共通理解のもと支援が出来るように取り組みます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	支援終了後、個々で打ち合わせ、振り返りを行っている。必要に応じて、他の職員にも伝達を行っている。	勤務時間等の兼ね合いでその日に全体での振り返りは難しいですが必ず、共有出来るシステムを導入することを検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の支援に関して、記録を記載していますが小さな気付きを見落とさず、記録として残していく様に心掛けます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しをしている。	今後も継続して取り組みます。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		4つの基本活動を取り入れていますがどの子ども達も参加出来る活動を立案し、自立に向けて取り組みます。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	発達状況、特性に合わせて同じプログラムの中でも選択できるような工夫がされている。	日々の活動の中で発達状況に合わせ、必ず、自己選択、自己決定する機会を設けています。これからも大切にして行きたい重要な部分だと思っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		今後も継続して取り組みます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		今後も密に連携を図るように取り組みます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	積極的に情報共有、連絡調整を行っている。	学校様がより良い連携を図る為にその都度、共有、調整を行い、迅速に対応して下さっています。感謝しております。 今後もスムーズに連携が図れる様に努めます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	相談員の方々が積極的に情報共有出来る場を設定して下さっている。	全児童ではないので積極的に就学前に利用していた施設との連携を図るように取り組みます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	必要に応じて情報提供を行っている。	継続して、適時提供出来るように取り組みます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		連携を図れない時もあります。機会があれば積極的に参加したいと考えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	外出にて児童館で他児童と触れ合う機会や他事業所との合同行事に参加している。	定期的に交流する機会を設けたいと思っています。また、地域交流では地域の方と職員が交流を深めている段階です。関係性を構築し、子ども達が交流出来る機会を立案して行きたいと考えています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	管理職等が参加をしている。 知り得た情報を共有している。	今後はどの職員でも参加出来るよう調整します。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	連絡帳や送迎時の伝達で、その日の様子や支援内容をこまめに伝えることができている。	送迎時もしくは直接ご連絡し、日頃の変化をお伝え出来るように心掛けています。今後も小さな気付きを見落とさず、お伝え出来るように取り組みます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		今年度はワークショップや親子交流する機会を設け、多くの方に参加して頂き、普段聞けないお話や子ども達の様子を見て頂き、有難うございました。 今後も家族支援プログラム等も開催出来るように検討します。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。	今後も変更があった際は迅速に対応し、伝達出来るように努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		こども達の思いを尊重し、保護者様の意向や目線に合わせ、課題調整を心掛けている。	言語聴覚士が在籍していない為、必要に応じては他の機関との連携し、専門的な部分での強化を図って行きたいです。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		書面でのやり取りや、面談時に説明を行い、同意を得ている。	今後はご都合に合わせて、様々な方法で説明、同意を得る形を検討していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談等は適時、対応している。	今後も迅速、正確に対応出来るように努めて参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		今年度は親の会を開催することで、親同士の交流、職員と保護者の交流を図ることができた。今後も継続したい。	今年度はワークショップや親子交流する機会を設け、多くの方がに参加して頂きました。保護者様同士でも交流する姿も見受けられ、良かったと思います。ご兄弟の方にも参加して頂き、協力する姿も見る事が出来ました。今後もご意見を踏まえ、ご兄弟が気軽に参加出来る行事を検討して行きたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		適時、対応している。	苦情があった際は迅速な対応が出来るように心掛けます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的に連絡票、お便り、SNS等で活動の様子を発信している。	SNSの更新が出来ない月もある為、毎月更新が出来るように取り組みます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			個人情報の取り扱いに関してはマニュアルに沿って管理させて頂いています。 鍵付きの保管庫にて厳重に取り扱っています。 今後も知り得た情報等が流失しないように管理体制を整え、徹底致します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		状況に応じて視覚的な配慮を行っている。	今後の状況に応じて意思の疎通では代弁を行い、尊重し、情報を分かりやすい形で伝えられるように配慮を心掛けます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域住民の方を招待とまではいかないが地域に開かれていると思う。	地域の会合や草刈り等に参加させて頂いてるので今後は地域の行事にも許される限り、積極的に参加して行きたいと考えています。また、子ども達と交流出来るイベント等も立
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年度ごとにマニュアルを見直し、職員に研修や周知をしている。 いつでも回覧できるようにされている。	各マニュアルがあり、職員間では研修、訓練等を実施しています。 保護者様への伝達に関しては契約時に触れていますが希望に応じては閲覧出来る形でありますのでお気軽にお申し付け下さい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			年4回程、子ども達と防災学習、避難訓練を実施しています。活動カレンダーに明記しております。 今後も実際に発生するケースに対して様々な訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		看護師が情報を管理し、必要に応じて職員に周知している。 癲癇発作時の対処手順、記録用紙等がある。	体調管理等をしっかりとを行い、新たな情報を聞き取り、周知出来るように取り組みます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			保護者様から医師の指示書を提示して頂き、対応しています。今後も継続して提示して頂けるように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		日常的に安全面に関しては確認をしている。	大きな事故等は発生していないが予測し、環境を整備することや危機管理を持った支援が出来るように取り組みます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			その都度周知していますが具体的な内容を伝達出来るように心掛けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を用いて再発防止に心掛けている。	少しの事でもヒヤリハット報告書を活用し、記録するように取り組みます。

53 54	<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。</p> <p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	5 5		虐待防止研修は年1回以上実施している。 契約時、適時に保護者様に説明をし、個別支援計画書にも明記し、同意を得ている。	今後も外部研修にも参加し、様々なケースに適切な対応が出来るように質の向上を図ります。 今後も定期的に周知出来るように努めます。
----------	---	--------	--	---	--